

# 畜産みやぎ

発行所

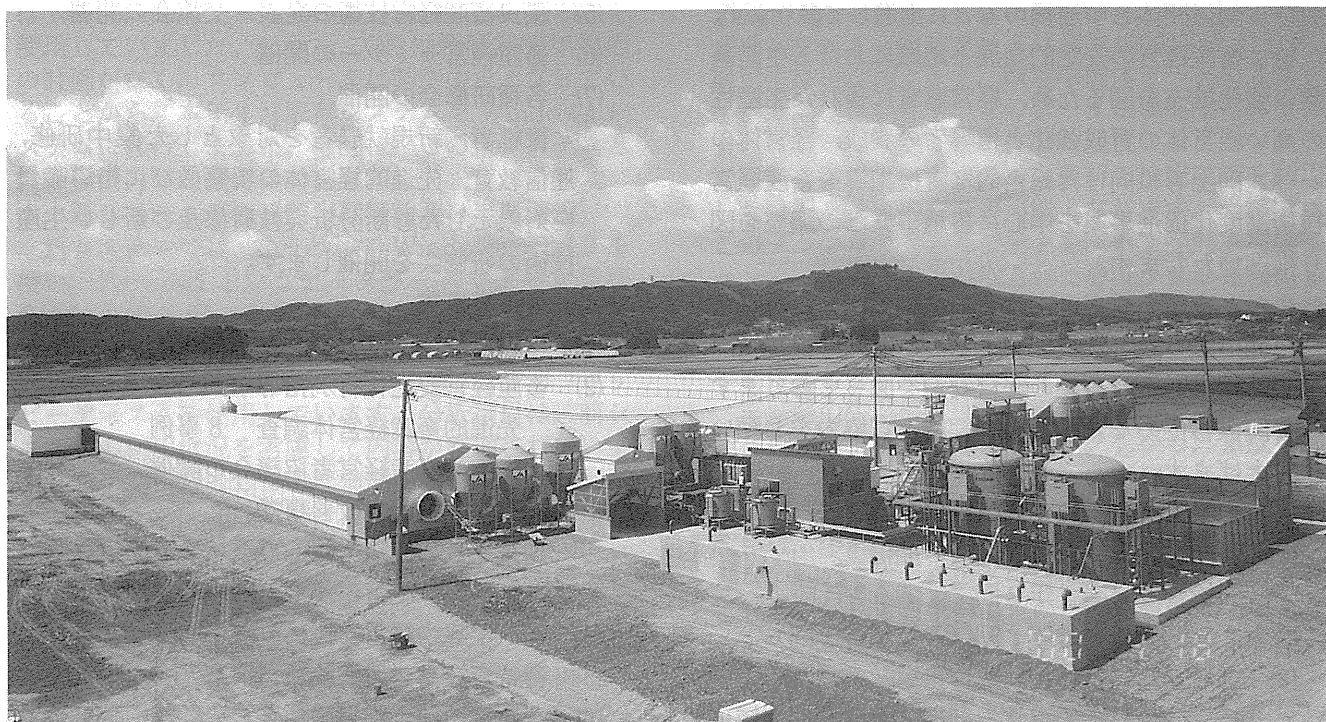
名取市増田字柳田379番地1

法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

印刷所 (株)東北プリント



ピッグ夢ファーム (豊里町)

## も く じ

- 平成12年度宮城県畜産会事業計画の概要…… 2
- 牛群検定情報分析センターシステムについて…… 3
- 「飼料増進推進計画」について…… 4
- 田圃でラップサイレージ!! …… 5
- ピッグ夢ファームの施設の紹介について…… 6
- 平成11年度和牛登録の実績について…… 7
- 人の動き…… 7
- 平成12年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ…… 8
- 「宮城県農業実践大学校へ入学して思ったこと」…… 8
- 家畜受精卵移植技術の普及状況について…… 9
- 豚伝染病性胃腸炎 (TGE) …… 10
- 新人紹介…… 10

みやぎの畜産情報発信基地 宮城県畜産会ホームページ

U R L <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

Eメール [mygchiku@mwnet.or.jp](mailto:mygchiku@mwnet.or.jp)

### 平成12年度宮城県畜産会事業計画の概要

(社)宮城県畜産会

平成12年度の本会の事業計画は、去る6月28日に開催した第45回定時総会において承認されました。

本年度事業は畜産をめぐる情勢の変化に対応し、現状に即した各種指導事業を県および県関係機関、並びに関係団体との連携のもとに推進して参ります。

特に畜産経営の安定的発展と地域における生産基盤の強化拡充を図るため、経営感覚に優れた生産性の高い経営体の育成強化と指導者の養成、経営体のレベル向上等に向けた総合的な支援指導を畜産経営技術高度化促進事業を中心に各種事業との調整を図り推進いたします。

また、畜産の将来に向けた畜産関係団体の再編統合は団体間の調整及び検討を重ね、新たな支援指導体制を構築し本県畜産の経営安定を図って参りますので関係各位のなご一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### 1. 畜産経営技術高度化促進指導事業

##### (1) 畜産経営支援指導研究会の開催

- イ. 総合委員会 年2回
- ロ. 専門委員会 年3回(3畜種各1回)

##### (2) 地域畜産経営体相談窓口指導

経営体の日常的な状況把握と指導及び地域における指導の連絡調整等指導相談の窓口として相談員3名を仙南・中央・仙北の事業所に配置し指導業務に従事します。

##### (3) 畜産経営技術支援指導

畜産経営体からの要請を受けて次の件数について診断指導を実施します。

- 個別診断指導 26戸
- 経営管理・生産技術指導 60戸
- フォローアップ(巡回) 40戸

##### (4) 畜産経営情報データベース化事業

パソコン通信網を活用した総合的な畜産関係

情報の提供を図るため検討委員会の開催、ネットワークの開設と各種情報のデータベース化を推進し畜産経営技術の精度の高い支援指導を推進します。

##### (5) 優良畜産経営技術の発表・交流会の開催

##### (6) 畜産経営セミナーの開催

##### (7) 各種研修会の開催

後継者・新規就農者を対象とした集中研修、通信教育、先進的経営体の視察並びに指導職員を対象とした診断分析実技研修及び新しい生産技術の研修会を開催します。

#### 2. 一般指導事業

##### (1) 宮城県総合畜産共進会の開催

##### (2) 畜産経営安定化特別指導事業

- イ. 先進的畜産経営体調査 8事例
- ロ. 先進的畜産経営者協議会の開催

##### (3) 肉用牛生産経営改善事業

調査頭数 繁殖牛 4,500頭 子牛 24,000頭  
肥育牛 5,000頭

##### (4) 担い手集中経営支援体制整備事業

##### (5) 畜特資金借受農家診断指導事業

##### (6) 畜産環境保全指導事業

##### (7) 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業

##### (8) 畜産経営支援指導機能強化事業

##### (9) 地域養豚振興特別対策事業

##### (10) 肉用牛集団育種推進事業


##### (11) 畜産技術普及広報活動

以上、畜産経営技術高度化促進指導事業及び一般指導事業のうち主要な事業を紹介申し上げましたが、他の事業につきましても主要事業との関連のもとに一体的に事業展開を推進して参ります。

(総務経理課長 高橋 功)

**来客 接待に牛乳を!!**

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



**宮城県牛乳普及協会**  
仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

**ORION**  
ともに前進 技術のオリオン

**酪農家の**  
声を反映した製品づくりと安心の  
おけるアフターサービスは  
オリオングループの誇りです。

**東北オリオン株式会社**  
本社 〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691  
宮城営業所 吉川市野田字泉原29-4 ☎999-8226  
TEL 0229/26-4330

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤  
**フロントラインプラスプレー**

新発売

動物用医薬品  
ビタミンE・セレン配合ミネラル調製塩  
**鈣塩E100**

**東北ゼンヤク株式会社**  
〒981-3361 宮城県黒川郡蔵谷町あけの平2丁目31-5  
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

# 牛群検定情報分析センターシステムについて

宮城県農業

宮城県畜産試験場

畜産試験場では検定情報分析センターという位置づけで、四半期毎に家畜改良事業団から送られる検定情報の分析加工を行い、農業改良普及センターなどの指導機関に送付し、成績の活用を支援しています。これまでこの分析加工業務には、コンピュータはN5200、システムのOSはNEC独自のPTOSを使用していました。しかし、OSは西暦2000年対応の計画がなく、コンピュータは製造中止となっていることから、本年4月既存システムをWindowsシステムに移行しました。今回は、この新システムと情報提供内容の概要について紹介します。

## 1. 新システムによる四半期情報及び半期情報

新システムでは、OSとしてWindows NT 4.0を使い、Paradoxというデータベースでデータ管理を行います。データ分析は表計算ソフトExcelを使用しますので、現地での二次加工も可能となっています。家畜改良事業団から送られるデータはフロッピーディスクを使用しています。分析項目は、前システムの利用状況を考慮して内容が整理されています。四半期情報として①繁殖簡易評価表、②体細胞グラフィック、③最新23ヶ月別検定成績表、④産歴別補正乳量の分布、また、半期情報として①推定遺伝伝達能力の分布、②生年別推定遺伝伝達能力の分布となっています。

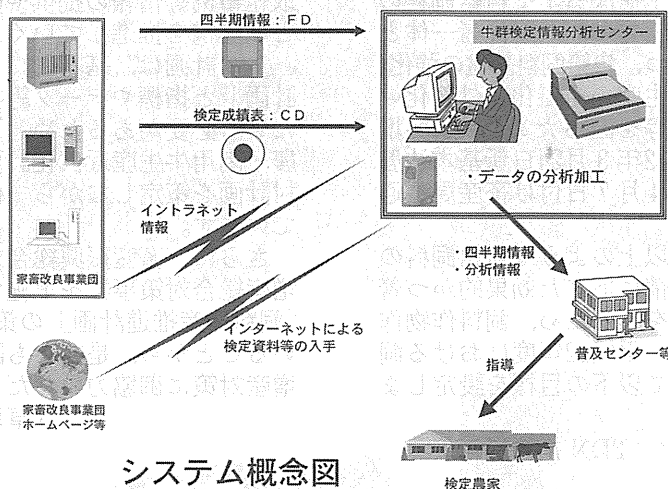
## 2. 新たな分析情報

また、家畜改良事業団はインターネット技術を利用したイントラネット（プライベートネットワーク）

による新たな牛群検定の成績データ提供方法を始めましたので、今回導入したパソコンもこれに対応させています。処理の流れは、当場のパソコンからブラウザを使用して、家畜改良事業団の牛群検定用WEBサーバに接続し、指定する牛群検定の成績データをダウンロード（データ取り込み）するものです。ダウンロード可能なデータは農家検定成績データ、検定牛検定成績データ、検定牛個体データの3ファイルとなっています。このデータは事業団電算センターにおいて検定成績表作製の翌日にはダウンロード可能となっていますので、最新の検定成績を利用した分析データの作製が可能となります。当場ではこのダウンロードしたデータを、事業団熊本種雄牛センターの川井先生が作られた分析ソフトを利用して二次加工し、県内全検定農家分を当場から指導機関へ提供することにしました。12年度は、新しい四半期情報とともに、年4回送付する予定です。

宮城県の牛群検定は、検定農家率、検定牛率とも現在日本最下位となっています。しかし、事故を起こさずに牛個体の能力を最大限に発揮させる適正な飼養管理とともに牛群の能力レベル向上を図る育種改良は、牛群検定事業を抜きにしては語ることができないものです。今後も牛群検定情報分析センターとして、少しでも牛群検定の情報が有効に活用できるよう取り組んでまいりますので、御理解と御協力をお願いしたいと思います。

(酪農肉牛部 小堤知行)



システム概念図

**TCM SUPER ROBLoader**  
スーパーローダー  
世界トップレベルの超低騒音

67 dB(A)  
Clear

TCM 東北ディー・シー・エム株式会社  
本社・工場・仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字茶畑135-1  
TEL (022) 259-6351(FX)

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

**ルビックス**  
牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 | 全農 | 経済連

正統の育ちと味

**仙臺牛**

仙台牛銘柄推進協議会  
仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ畜産課内 TEL.022(264)8450

### 「飼料増産推進計画」について

宮城県畜産課

「食料・農業・農村基本計画」においては、食料の安定供給を確保するため、国内農業生産を基本として、可能な限り、その維持・増大を図ることや多面的機能の発揮等を基本的理念としています。このような状況の下、我が国の畜産経営の健全な発展と国産農産物の安定的な供給及び資源循環に配慮した土地基盤に立脚した畜産の確立を図るため、畜産の担い手となる経営体の育成、自給飼料の増産、家畜改良の推進、畜産環境対策の充実強化等に重点を置いて各般の畜産施策の推進を図ることとしています。

特に、先般の92年ぶりの我が国での口蹄疫発生等に見られたような輸入粗飼料の需給不安に対応するとともに、何よりも、自ら生産することによって、良質かつ安全な粗飼料を確保するといった観点から、自給飼料増産への取り組みを強力に推進する必要があります。

また、平成11年に「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が施行され、家畜排せつ物の適正管理等により、畜産環境問題の早急な解決が求められています。しかし、現実には、輸入飼料への依存により、海外からの飼料が家畜排せつ物としてアウトプットされる図式となっており、地域及び経営内の物質循環の収支均衡が大きく崩れつつあると思われます。このため、畜産循環問題の克服を図る観点からは、まず、元を断つ努力として輸入飼料への依存から自給飼料生産への転換を図り、土-草-牛の資源循環を推進していくことが重要となっています。

さらに、食料自給率の向上を図る上で自給飼料の生産拡大が重要な課題となっており、関係者一体となった増産運動を展開しつつ、自給飼料基盤の強化、生産性・品質の向上、飼料生産の組織化・外部化の推進及び日本型放牧の推進等を図るため、「飼料増産推進計画」が策定（平成12年3月24日新基本法農政推進本部決定、平成12年4月7日付け畜産局長通知）されました。

飼料増産推進計画では、以上のような自給飼料の重要性等に鑑み、地域の実情に応じた効果的かつ着実な自給飼料の増産の推進を図るため、飼料作物作付面積等の数値目標として、平成22年度における飼料作物の国内生産水準として以下の目標を設定しました。

- (1) 収穫量 508万トン（TDN換算）

- (2) 単収 4,461kg/10a

- (3) 作付面積 110万ha

また、東北は15万1700～16万7700haの作付面積の地域別内訳が示されました。これは、全体の14～15%を示しています。

なお、宮城県の平成10年の統計では、飼料作物作付面積15,807ha、単収約3,000kg/10aとなっており、目標達成にはかなりの努力を要すると思われます。その他、合理的な生産体系の実現に向けた生産指標として、飼料作物生産の指標や日本型放牧の指標を設定することになっています。

さらに、飼料増産のための推進方策として、下記の事項について記述することになっています。

- 1 畜産農家への土地利用集積及び団地化の推進
- 2 水田等既耕地の活用及び耕種農家との連携
- 3 中山間地域における飼料基盤の強化
- 4 草地整備の着実な推進
- 5 優良品種の普及、技術の高位平準化の推進
- 6 飼料生産の組織化、外部化の推進
- 7 日本型放牧の推進
- 8 あらゆる地域資源の活用の推進
- 9 粗飼料多給型畜産物の普及

この計画を達成するため、農業団体、行政機関、普及組織等幅広い関係者からなる「飼料増産戦略会議」を県及び市町村段階で設置し、増産運動の基本方針の決定、普及啓発等の関係者一体となった飼料増産の取り組みを展開していくことになっています。さらに、増産に向けた制度・施策の普及・浸透及び取組事例等情報の提供や関連施策における推進活動との連携を推進していくことになっています。

この計画は、基本的に「酪農・肉用牛生産近代化計画」と指標やデータ等共通させるなど整合性を持たせる必要があるため、計画策定にあたっては「酪農・肉用牛生産近代化計画」と同様に県計画、市町村計画を策定しながら一体的に進めていくことにしています。

さらに、畜産振興総合対策事業のうち、自給飼料増産総合対策事業を実施する上で、市町村段階での「飼料増産推進計画」の策定が採択要件にもなっていることから、是非とも計画の策定及び自給飼料の増産対策に御協力いただきたいと存じます。

(草地環境整備班 菅原賢一)

**WORLD 世界の**  
**サモータ**



株式会社 **五十嵐商会**  
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4  
 電話 (022) 236-2525 (代表)

畜産振興の明日を  
担う地方競馬



地方競馬全国協会

**KOMATSU**

カンタン操作で、  
飼料も堆肥もラクラク作業



**コマツ宮城株式会社**  
 仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
 電話 (022) (237) 7441 (番代)

## 田圃でラップサイレージ!!

### ～飼料イネの自走式収穫機の実演会開催～

日時：9月5日(火) 13時30分から  
(雨天順延)

場所：田尻町沼部地区  
JAみどりの沼部ライスセンター前水田

飼料イネ栽培は減反水田の有効活用、飼料自給率の向上などから全国的に注目されています。

排水不良な転作田などで飼料イネをそのままホールクローブサイレージに調製できる自走式収穫機が、国の草地試験場と三重県農業技術センター等で共同

開発されました。

これは、自脱型コンバインのように稲を刈り取ってロールベールにする自走式ロールベアラ及びベールラップです。

本県では初めてのデモ走行調製実演会を、田尻町の農家や関係の方々のご協力を頂き上記のとおり実施いたします。多数の方のご来場を期待いたします。

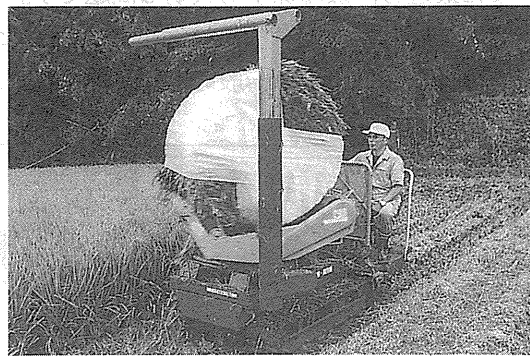
県畜産試験場 0229-72-3101  
草地飼料部 菊田、及川(克)



▲飼料用イネを刈取るカッティングロールベアラ



▲梱包したロールは直接受け取るため、濡れや土砂の混入がない



▲自走式ベールラップで走行しながらラッピング

## ピッグ夢ファームの施設の紹介について

### 迫畜産保健衛生所

畜産再編総合対策事業を活用し養豚関連施設を整備した豊里町の「有限会社 ピッグ夢ファーム」を紹介します。

そもそも、この事業に取り組むきっかけは、豊里町の銘柄豚を確保することでした。肉豚で年間に1万頭出荷体制を整備すること。そのためには、母豚で500頭は必要でした。

農協の合併を前に行った農家意向調査アンケートの結果では、養豚経営を続けていく生産者が予想以上に少ないことがわかりました。『これまで銘柄豚を出荷してきて、今までやってきたことをやめてしまってもいいの？』など生産者間で議論が噴出しました。JAの養豚部会でも検討した結果、『借金をしてリスクも背負うが、今後も養豚経営を続けていきたい』という5名の有志で結成されたのがピッグ夢ファームです。

夢ファームは母豚300頭の一貫経営をしていますが、一部の子豚は、近くの繁殖農家から導入するようにして銘柄豚生産を行っています。

今回整備された飼養関連施設としては、交配豚舎1棟、分娩豚舎1棟、肥育豚舎2棟となっています。総事業費は402,129千円、補助金も国、県、町からそれぞれ受けています。

この施設の特徴としては、SEW（早期離乳分離分散）方式を取り入れていることです。SEW方式は、従来、分娩から離乳まで30日ぐらいを要していたものを、2週間に短縮するものです。この方法は、子豚の離乳時期を早くするわけですが、最大メリットは、母豚から感染する疾病を防止できることです。

また最近では、環境保全も大切な問題です。施設から排出された尿や洗浄水は、適正に処理した上で、河川等に放流するのが一般的です。河川には放流基

準があり、BOD、SS等の数値をクリアするため、水処理は必要不可欠です。

関係者からの申し入れもあり、今回のピッグ夢ファームが放流を許可するには、放流基準をクリアした上に、放流水を透明にしなければならず、先進地視察などを行い、従来の処理方法とは違ったオゾン処理を採用することになりました。

従来の方法でも放流基準の値はクリアできますが、水の色が無色透明にはなりません。このオゾン処理は、水産加工関係では、一般的に取り入れられている技術です。オゾンは殺菌、脱色の作用があり、夢ファームの佐々木さん宅で2度デモンストレーションをしましたが、結果は上々だったので、この方法に決まったようです。

また、臭気対策については、オゾン処理水を豚舎に噴霧して臭気を軽減させる様な装置も取り付けています。さらに、脱臭装置を設置しており、万全を期すようにしています。

SEW施設は、管内では米山町にもありますが、これから、養豚経営を続けていくには、ひとつの有効な技術、新しい技術ではありますが、この方式はまだまだ、これから普及していくものと思われます。補助事業としては、施設を設置するという形で事業は終わりましたが、今後の利活用の方が大切なわけで、夢ファームが名前のお通り、トントントンと調子よくいくように、夢ファームの社員はもちろん関係機関も協力して中核的な生産者を援助し、盛り上げていきたいと思います。

関係機関、涌谷町の皆さん、いろいろご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。  
(大沼 篤)



各県の畜産会が選び出した全国約2000件の畜産物生産情報を、一堂に集めました。今まで知らなかった珍しい畜産品や、こだわり畜産品の数々。産直品で食卓にひと花添えたい人から、産直品を作りたい人まで、とっても役に立つ情報が、インターネットでご利用になれます。

宮城県畜産会ホームページからのアクセスをお勧めします。  
<http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

.....日本全国いいもの産直便.....

平成11年度和牛登録の実績について

全国和牛登録協会宮城県支部

平成11年度の和牛登録実績は、登録件数で前年対比約9%増の2,941件となり、子牛登記件数は、前年比100%の23,358件となった。これは、県内各農協の導入事業が盛んに行われた事、また子牛価格が堅調に推移していることが要因と思われる。

しかし、会員数は前年比93.8%の7,752名となり、毎年約500名程度の減少が続いている。

また、本支部において和牛改良事業として推進している育種価推進事業については、情報収集件数4,187件・評価頭数12,148頭と約43%の推定育種価が判明し、期待育種価を合計すると約6割が判明したこととなる。今後の和牛改良に大きく貢献できるものと思われる。

単位：件

登録事業別	H11年度計画	H11年度実績	計画対比	H10実績	前年対比
育種牛	45	35	77.8%	26	134.6%
高等登録	180	286	158.9%	63	454.0%
高等移動	52	57	109.6%	54	105.6%
高等再交付	0	0		1	0.0%
本原登録	1,639	2,031	123.9%	1,738	116.9%
本原移動	780	792	101.5%	793	99.9%
本原再交付	0	26		23	113.0%
本原書換	0	0		2	0.0%
基本登録	820	910	111.0%	961	94.7%
基本移動	450	397	88.2%	435	91.3%
基本再交付	0	9		13	69.2%
基本書換	0	0		0	
子牛登記(♂)	12,300	12,117	98.5%	12,026	100.8%
子牛登記(♀)	11,680	11,241	96.2%	11,332	99.2%
子牛再交付	0	25		16	166.3%
子牛書換	0	2		9	22.2%
能力証明	0	0		3	0.0%
血液検査	546	476	87.2%	470	101.3%
計	28,492	28,404	99.7%	27,965	101.6%
会員	8,100	7,752	95.7%	8,264	93.8%

育種価事業

枝肉情報収集件数

推定育種価評価頭数

支所名	H10収集件数	H11収集件数	前年対比
仙南支所	282	207	73.4%
古川支所	1,054	1,102	104.6%
遠田支所	695	1,391	200.1%
栗原支所	844	474	56.2%
登米支所	1,458	1,013	69.5%
合計	4,333	4,187	96.6%

支所名	H10評価頭数	H11評価頭数	前年対比
仙南支所	762	860	112.9%
古川支所	1,984	2,548	128.4%
遠田支所	1,967	2,137	108.6%
栗原支所	2,203	2,561	116.3%
登米支所	3,463	4,042	116.7%
合計	10,379	12,148	117.0%

<人の動き>

宮城県

平成12年7月1日付け

新	旧	氏名
大河原家畜保健衛生所	迫家畜保健衛生所	松田 里子
仙台家畜保健衛生所	大河原家畜保健衛生所	竹田百合子
迫家畜保健衛生所	仙台家畜保健衛生所	石橋 拓英

宮城県畜産会

退職(6月30日付け) 総務経理課主任主事

新採用(6月1日付け) 経営指導課技師

新採用(7月1日付け) 総務経理課主任主事

長倉 幸子  
芳賀 巧  
島 貫 稔

### 平成12年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ

#### (社)宮城県畜産会

農林水産祭参加平成12年度宮城県総合畜産共進会は、下記日程で開催いたしますこととなりましたので多数ご参観くださるようご案内申し上げます。

#### 1. 肉豚の部

開催日 平成12年9月6日(水)～8日(金)  
場所 宮城県食肉流通公社(米山町)

#### 2. 乳用牛・肉用牛の部

開催日 平成12年9月16日(土)  
場所 みやぎ総合家畜市場(小牛田町)

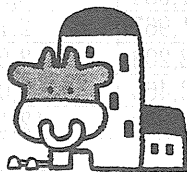
#### 3. 出品頭数

- ・肉豚の部 150セット(同腹去勢2頭, 雌1頭, 計3頭1セット)計450頭
- ・乳用牛の部 83頭
- ・肉用牛の部 98頭, 18組(68頭)計166頭

#### 4. 付帯行事

- ・県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会
- ・和牛婦人部審査コンクール
- ・乳用牛ジャッチングコンテスト
- ・食肉の展示即売「高級牛肉仙台牛」「ミヤギノポーク」
- ・牛乳・乳製品展示即売
- ・牛乳の料理実演及び試食
- ・焼肉コーナー
- ・地場産品展示即売
- ・家畜改良・家畜衛生相談コーナー

(経営指導課 石川正志)



### 実践大学校生の抱負

#### 「宮城県農業実践大学校へ入学して思ったこと」

畜産学部1年 亀井 一彦



私の家は酪農を営んでいて幼い頃から家業に興味・関心を持っており、それで農業高校に進学し、さらにより高度な知識と最新の技術を身につけるため実習主体の実践大学校に入学しました。

毎日家畜に触れ合いながら勉強ができ、今後、酪農経営をする上で必要とされる各種の資格や免許取得に配慮している点も大きな魅力を感じました。

入学して3ヶ月余りが過ぎ、今までのことを振り返ってみて、印象的だったのは、畜産学部の専攻学習で行った岩出山牧場での5月と6月に3日間ずつ合計6日間の実習です。

岩出山牧場では、私と同じように家畜と触れ合うことを楽しみにしていた他の学生達も活気にあふれ実習を楽しんでいたようでした。牧場の環境整備や除糞などの基本的実習作業に加え、黒毛和種の肥育用の子牛の去勢や繁殖用の雌牛への人工授精の見学など興味深いものでした。初めてみる学生もおおり、とても勉強になりました。

ただ、残念に思うことが二つあります。畜産学部のある岩出山牧場には、1学年時には1ヶ月に一度1週間しか行く機会がないことです。あとは、名取教場での座学がほとんどなのです。

二つ目は、古川にある瑞穂寮の先輩方とは、入れ違いが多く、名取と古川で各1週間ずつしか一緒に生活していないことです。このため、困ったことがあっても相談することができず話す機会が少なく残念に思っています。でも先輩方と過ごした古川の1週間は、1、2年一緒の実習があったり、歓迎会なども行われ、楽しく有意義なものでした。

入学して本当に良かったと思っている事があります。それは、友達の輪が広がり今後の畜産のあり方や将来の夢などを話しあえる仲間がたくさんできたことです。とてもうれしい限りです。今後はみんな力で合わせ楽しい学校生活を送っていききたいと思います。

●効能……粗飼料の食い込み、消化吸収促進  
悪臭防止、優良堆肥作り  
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母



株式会社セイフ 東北営業所  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号  
TEL (022) 215-3112  
FAX (022) 213-7190

#### ビフィズス菌は

きたまま腸までとどきます。



ヨーグルト 500ml  
宮酪乳業株式会社  
名取市飯野坂五丁目1番3号  
☎ (022) 384-5181



<畜試便り>

家畜受精卵移植技術の普及状況について

宮城県畜産試験場

フィールドにおける牛受精卵移植(ET)は事業開始から17年が経過しようとしているところであり、その現状について紹介します。

1 全国における状況

国内における体内受精卵由来の産子は年々増加しており、平成10年度における産子の頭数は15,653頭となっており、これはアメリカ、カナダに次いで世界第3位の成績です。産子の81%が肉用牛、受卵牛の74%が乳用牛であり、乳牛に和牛の受精卵を移植する形態が大部分となっています。また凍結卵の移植割合が79%を占め、これは世界で最も高い利用割合となっており、零細な飼養規模によるものと思われる。1頭あたりの平均回収正常卵数は4~5個で、これは事業開始当時から、また世界的に見ても変わっていません。新鮮卵の受胎率は50%で、平成元年度から変わりませんが、凍結卵の受胎率は46%で平成7年度までは改善されてきましたが、それ以降は伸び悩んでいます。

2 県内における状況

平成10年度における採卵・移植頭数は畜産試験場が134頭・297頭・NOSAI宮城が173頭・465頭となっています。また、最近では民間の獣医師のグループにより年間200頭程度の採卵が実施されており、着実にET技術の利用拡大がはかられています。

3 ET技術の利用に見られる特徴

ETは本来、高能力の雌牛の産子を飛躍的に増殖できることが長所でした。しかし、産子の80%以上が和牛である日本においては、希少な精液(高能力であるため需要が集中し入手困難)を用いてより多くの産子を生産するために利用されるケースが多くを占めています。こうした精液の交配産子は、子牛市場でも高値で取引引きされ、関係者の注目を集めているのが現実です。次に(株)家畜改良事業団が実施しているET技術を利用した優良事業例調査を分析してみると、次のようなことが分かります。(1)畜産試験場・家畜保健衛生所や町営牧場等、公的機関の協力を得ている。(2)リスクの分散と利益の分配を図る優良システムを構築し、それに補助事業をうまく

活用している。(3)資本力の大きな団体等が少ない経費で技術を提供し、代わりに果実を分配して、個人が容易に取り組めるようにしている。(4)高い技術力を持ち、飼養管理から経営までトータルに指導できる秀でた技術者がいる。成功事例には、必ずこれらの条件のうちのどれか1つが含まれているようです。

4 技術者について

平成9年度における国内の家畜体内受精卵移植師の免許保有者数は2,218名うち業務従事者数は1,442名となっています。本県では昭和60年に15名の家畜受精卵移植師を養成して以来、5年ごとに講習会を開催し、この6月には第4回目の講習会が開催されました(表-1)。乳牛の飼養頭数とET産子の頭数から考えても、ET技術が普及する基盤はまだまだ広がっており、高い技術力をもった技術者がETに従事することにより、繁殖・酪農経営は、より面白くなるはずでです。新たな受精卵移植技術者に期待を寄せたいなるエールを贈りたいと思います。

表-1 平成12年度家畜体内受精卵移植講習会修了者名簿

氏名	住所
1 沼邊 吉孝	刈田郡蔵王町
2 高橋 太	柴田郡大河原町
3 開沼 裕司	刈田郡蔵王町
4 森山 寿行	宮城郡松島町
5 渡部 勇樹	宮城郡利府町
6 佐藤 正信	黒川郡大和町
7 千葉 義文	加美郡中新田町
8 荒関 正夫	遠田郡涌谷町
9 山崎 信夫	遠田郡涌谷町
10 千葉 たえ子	遠田郡涌谷町
11 落安 勝	栗原郡築館町
12 遊佐 信也	栗原郡一迫町
13 伊藤 純一	栗原郡志波姫町
15 及川 秀一	登米郡中田町

(酪農肉牛部 高田直和)

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 工 一 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755

<衛生便り>

豚伝染病胃腸炎 (TGE)

仙台家畜保健衛生所

平成11年3月以降、西日本を中心に豚伝染性胃腸炎 (TGE) が流行しており、全国で12月までに24戸11,202頭の発生が報告されています。

TGEは、豚伝染性胃腸炎ウイルス (コロナウイルス) の感染による、嘔吐、水様性下痢を主徴とする豚の伝染性消化器病で、病原性と伝染力の強さから豚の消化器系感染症の中でも最も重要な疾病です。本病は年齢を問わず高率に感染し、致死率は若齢豚ほど高く、ひとたび本病が発生すればその被害は甚大となることから、本病の予防対策は養豚経営にとって極めて重要です。

本ウイルスは温度に対して抵抗性が弱く、37℃、24時間で9%が死滅してしまうため、発生の多くは晩秋から早春までの寒冷期に集中します。本ウイルスは導入豚によって持ち込まれることがおおく、清浄な養豚場に発生するとウイルスは爆発的に増殖し、発病豚の糞便中に大量のウイルスが排泄されます。伝染力がすこぶる強いことから、鼻や口を介してまたたく間に他の豚に感染が広がっていくのが特徴です。症状は哺乳豚の場合、突然嘔吐が見られ、次いで激しい水様性下痢が認められます。下痢便は乳白色から次第に黄緑色に変化し、脱水症状を呈し、1週齢以下の豚はほぼ100%死亡します。死亡率は日齢が進むに従い低下しますが、回復後の発育は非常に悪く、ほとんどがヒネ豚になります。肥育豚でも嘔吐の後、激しい水様性下痢がほぼ100%の豚に認められますが、他の病気を併発しない限り死亡率は5%以下と低い傾向にあります。母豚については下痢を示さない豚も認められますが、分娩時の母豚は本病に対して感受性が高く、授乳期には泌乳の減少や停止などが見られ哺乳豚の死亡率を高める原因となります。

本病の予防には妊娠豚に生ワクチンを投与し、分娩後に子豚が乳汁を飲むことにより免疫を獲得する方法と、直接子豚に生ワクチンを経口投与し、子豚を免疫する方法の2種類があります。宮城県のワクチン接種状況は近年25%程度と非常に低い状況にあります。本病の予防にはワクチンの積極的かつ効果的な使用はもちろん、他の病気を併発させない飼養管理の徹底が重要と思われま

(病性鑑定班 早坂駿哉)

<新人紹介>

全国農業協同組合連合会宮城県本部

吉田 晋也



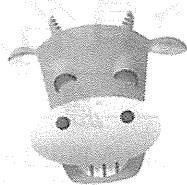
今年全国農業協同組合連合会宮城県本部に入会しました吉田晋也です。

出身は群馬県です。この春宇都宮大学農学部を卒業し4月から仙台に住み始めました。初めは慣れない土地での生活に戸惑いがありましたが、現在は多少仙台の空気に慣れてきた様な気がしています。しかし宮城

県の言葉は別で、4ヵ月経過した今でも分からない時があります。今後宮城県の言葉を早く覚える様に努力していきたいと思

います。現在私は、畜産課で主に補助事業と酪農事業について担当させて頂いています。大学で畜産について学んできたので、少しでも知識を生かせる職場で働けることをとても嬉しく思っています。しかし、大学で学んできたことを全て生かせる訳ではなく、逆に言えば大学で学んできたこと以外の知識が必要であると強く実感しています。特に現場での経験が必要な時や、農家の立場に立って仕事を進めていかなければならないことが数多くあり、仕事の難しさを実感している毎日です。

入会してから4ヵ月が経過しましたが、補助事業の仕事に携わるだけで精一杯で、酪農事業に関しては全んど携わることができませんでした。今後は、酪農事業やその他の畜産事業にも携われる様一生懸命頑張りたいと思



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133